

# 太田川ダム環境対策連絡会における 審議結果の総括

静岡県では、太田川ダム建設に伴う影響からダム周辺の環境を保全することを目的として、有識者からなる太田川ダム環境保全対策検討委員会を設置し、平成9年から平成11年まで3年間にわたって、湛水地区周辺における詳細な自然環境調査、それを実施した上で、環境保全対策の検討を行ってまいりました。

その後、委員会での調査結果、検討結果をもとに、17項目からなる保全対策を盛り込んだ、「太田川ダム建設に伴う環境保全に関する提言書」が平成12年の3月に知事に提出され、その提言に基づいて太田川ダム環境対策連絡会が設置しました。

今回、平成14年6月の第1回連絡会から10年以上にわたって開催されてきた審議結果の総括をとりまとめましたので、ご報告します。



平成 26 年 1 月

太田川ダム環境対策連絡会

静岡県

## 太田川ダム環境対策連絡会の開催経緯と太田川ダム建設事業の経緯

開催日	議事	建設事業の主な経緯
H14.6.2	1.太田川ダム建設事業における環境対策の沿革 2.環境対策連絡会の設置（設置要綱等） 3.ダム建設工事の概要 4.太田川ダムにおける環境対策（モニタリング、工事における環境対策）	太田川ダム本体内 起工式 (H14.10.29)
H14.11.21	1.環境対策実施状況（モニタリング、工事における環境対策） 2.環境対策実施予定（モニタリング、工事における環境対策）	公共物（大まる様、八幡様ほか） 移設完成式（H14.11.24）
H15.6.3		
H15.11.25		
H16.6.10		
H16.11.19		
H17.6.7	1.環境対策実施状況（モニタリング、工事における環境対策） 2.環境対策実施予定（モニタリング、工事における環境対策） 3.平成17年度夏以降に始まるコンクリート打設工事について	
H17.11.30	1.環境対策実施状況（モニタリング、工事における環境対策） 2.環境対策実施予定（モニタリング、工事における環境対策） 3.太田川ダム周辺環境整備計画（原案）について	初打設式（本体コンクリート） (H18.3.21)
H18.6.9	1.猛禽類のモニタリング状況 2.貴重植物のモニタリング状況 3.工事における環境対策	定礎式（H18.10.1）
H18.11.30		
H19.6.20		湖面橋命名「かわせみ橋」 (H19.7.7)
H19.11.30		「かわせみ橋」開通式（H20.2.23） ダム湖名「かわせみ湖」に決定 (H20.5.23)
H20.6.24	1.猛禽類のモニタリング状況 2.生態系（水域）調査結果 3.貴重植物のモニタリング状況 4.工事における環境対策	付替県道工事完了（原石山手前～不動沢橋区間の供用開始）（H20.9.5） 試験湛水開始（H20.10.16）
H20.11.28	1.工事の進捗状況 2.猛禽類のモニタリング状況及び今後の計画 3.法面植生調査の報告 4.工事における環境対策	試験湛水終了（H21.6.3） 供用開始（H21.7.1）
H21.8.31	1.猛禽類のモニタリング状況 2.試験湛水の結果 3.工事における環境対策	竣工式（H21.11.1）
H22.2.12	1.環境対策の実施状況 2.今後の環境対策実施計画 3.貯水池周辺での取組み	
H23.11.30	1.ダム湛水後の維持管理等 2.猛禽類、生物相（陸域）のモニタリング結果 3.今後の環境調査実施計画	
H24.11.29	1.ダム湛水後の維持管理等 2.猛禽類、生物相（水域、水辺）のモニタリング結果	
H25.11.7	1.ダム湛水後の維持管理等 2.太田川ダム建設による影響と環境対策 3.評価及び今後の課題	

静岡県袋井土木事務所 ダム管理課

〒437-0042 静岡県袋井市山名町 2-1

TEL (0538) 42-3211 FAX (0538) 43-0919

## 太田川ダム建設における環境対策の総括

### 1. 猛禽類について

太田川ダム建設事業では、ダム周辺に生息するクマタカとオオタカへの影響を回避・低減するため、提言書に記載された環境保全対策のほか、工事の実施に伴い新たに環境保全対策を追加するなど、様々な保全対策を講じてきました。

その結果、クマタカについては、工事前後に継続して生息を確認しました。繁殖成績は必ずしも高い状況とは言えませんが、工事中にも繁殖を確認しました。一方、オオタカについては、ダム近辺で繁殖がみられなくなったものの、周辺における生息を確認しました。

以上より、ダム建設地周辺では工事後にも猛禽類の生息が確認されていることから、本地域における生態系上位種の生息環境を維持できたと考えています。

### 2. 貴重植物について

残土処理計画地の見直しを実施したことにより、残土処理計画を中止した場所の特定種及びその生育地をそのままの状態で見守ることができました。また、工事による改変等に伴い、特定種の生育環境が変化する場合、必要に応じて生育環境の変化を軽減する保全対策を実施しました。さらに改変による影響を避けられない特定種は、可能な限り移植を実施しました。

モニタリングの結果、生育環境の変化の軽減により保全した特定種の生育地は、生育地としての環境を維持していることを確認し、移植により保全した特定種は、移植個体及び移植個体から発生した新個体(実生等)の定着により、繁殖による増加や分布の拡大が期待されることを確認しました。なお、ダム貯水量計画が見直されたこと(湛水区域の縮小)に伴い、湛水面の高さが約2m低くなったため、特定種であるイワヒバの一部の個体の消失を回避しました。

### 3. 陸域生物、水域生物について

#### (1) 哺乳類

付替道路の谷部分を橋梁にすることにより移動経路を確保し、水辺環境の分断を回避したことにより、哺乳類の生息環境を保全しました。また、工事後においても特定種であるタヌキやキツネ、アナグマ、イノシシ、ニホンジカ、ニホンカモシカを貯水池周辺で確認していることから、湛水によるこれら哺乳類への影響は軽減されたと考えています。

#### (2) 鳥類

残土処理計画地の見直しを実施したことにより、サンコウチョウにとって繁殖上重要な場所をそのままの状態で見守ることができました。なお、環境変遷追跡調査では、残土処理計画を中止した場所でサンコウチョウを確認しました。

#### (3) 両生類・爬虫類

工事中の保全対策として、河川を中心に生息する動物(両生類カシカガエル等)を対象に濁水処理対策を実施しました。また、湛水によって生息・繁殖環境が消失するモリアオガエルを対象に残土処理場等に生息・繁殖環境の創出を実施しました。

環境変遷追跡調査等により、工事中におけるカシカガエルの生息をダム堤体下流で確認しました。また、モリアオガエルについても、残土処理場の沈砂地等で卵塊を確認するなど、ダム事業により新たに出現した環境を積極的に利用していることを確認しました。

このことから、ダム建設地周辺におけるカシカガエルの生息を脅かすような工事による影響はなく、モリアオガエルについても湛水による影響を軽減したと考えています。

### (4) 魚類

工事中の保全対策として、河川を中心に生息する動物(魚類等)を対象に濁水処理対策を実施した。環境変遷追跡調査結果から、工事中におけるダム堤体下流での魚類の種構成は維持されており、ダム建設地周辺における魚類の生息を脅かすような工事による影響はなかったと考えられる。

一方で、試験湛水における、サーチャージ水位から常時満水位までの水位低下時において、下流河川に体積土砂が多く、この体積土砂の影響で想定以上の濁水が発生することとなり、地元住民や漁業組合等にダムから濁水を放流したとの誤解を与える結果となってしまった。また、一時的に貯水池内の低層部の冷水を放流したことにより、アユなどの漁業対象魚種に忌避行動を起こさせてしまった。

これらの状況・要因については、直ちに関係者・関係機関に連絡し説明を行うことで理解を得たが、情報提供の必要性・重要性について改めて認識した。

### (5) 昆虫類

工事中の保全対策として、ゲンジボタル等のホタル類や走光性昆虫を対象に、光源の種類や設置場所等に配慮しました。

環境変遷追跡調査等により、工事中におけるゲンジボタルの生息をダム直上流部で確認しました。また、走光性昆虫の種構成は概ね維持されていました。

このことから、ダム建設地周辺におけるゲンジボタルや走光性昆虫の生息を脅かすような工事による影響はなかったと考えています。

### (6) 底生動物

残土処理計画地の見直しを実施したことにより、ムカシトンボ及びその生育地をそのままの状態で見守ることができました。なお、環境変遷追跡調査では、残土処理計画を中止した場所でムカシトンボの幼虫を確認しました。

また、工事中の保全対策として、河川を中心に生息する動物(底生動物等)を対象に濁水処理対策を実施しました。環境変遷追跡調査の結果、ダム堤体下流での底生動物の種構成は概ね維持されており、ダム建設地周辺における底生動物の生息を脅かすような工事による影響はなかったと考えています。

### 4. 法面植生について

ダム建設により新たに造成される法面や残土処理場等に、地域本来の植生を早期に回復させるために、ダム建設地やその周辺で採取した表土や木本種子、その木本種子から育成した苗木といった郷土種を使用しました。

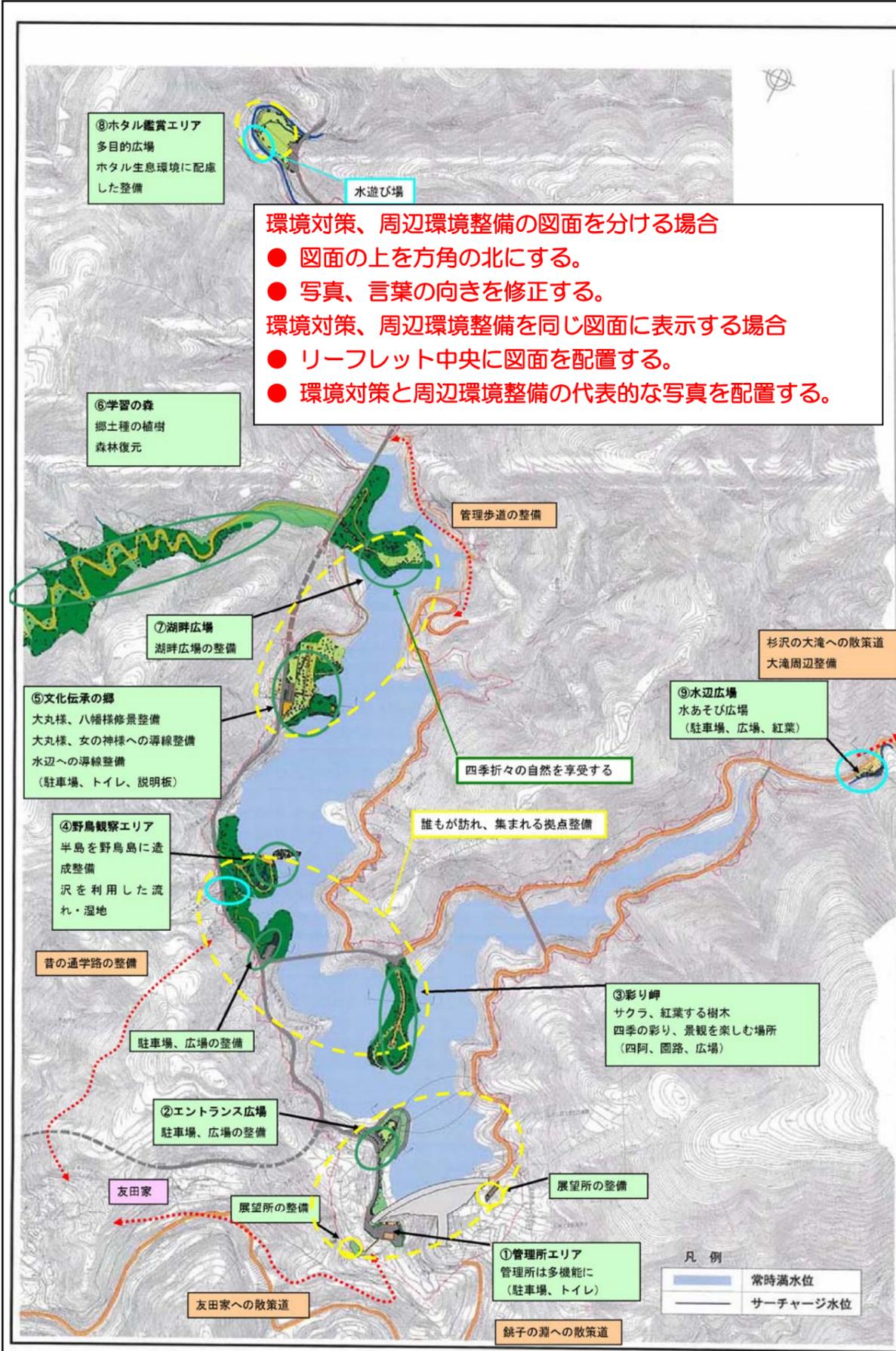
緑化法面のモニタリングの結果、法面は緑化施工後5年が経過した段階で、表土や周辺個体由来の種子からなる群落が形成され、先駆性樹木が多く混在することを確認しました。また、残土処理場では苗木の植樹により森林の初期状態を形成されました。

これらの保全対策により、法面や残土処理場に地域本来の植生を復元させる目的を達成することができました。また、表土には動物の卵や土壌生物等も多く含まれることから、地域特有の植物及び動物を保存することにもつながったと考えています。

### 5. 河川景観、形態について

水域生物については、湛水前の平成19年度と湛水後の平成24年度に調査を行い、湛水前後の変化を考察しています。

重兵衛淵や大石の淵、釜淵では、湛湛水前後で、河川の形態に変化はみられませんでした。



**環境対策、周辺環境整備の図面を分ける場合**

- 図面の上を方角の北にする。
- 写真、言葉の向きを修正する。

**環境対策、周辺環境整備を同じ図面に表示する場合**

- リーフレット中央に図面を配置する。
- 環境対策と周辺環境整備の代表的な写真を配置する。



階段状の木柵水路  
(伝倉沢残土処理場の施工例)



付替県道(4号トンネル付近)の施工例



サンショウクイ  
(環境省RL:絶滅危惧II類)  
(静岡県RDB:絶滅危惧IB類)



アマゴ  
(静岡県RDB:要注目種)



モリアオガエル



モリアオガエル卵塊



卵塊の採取



路外等で卵塊を移す必要の無かった箇所は、看板により工事関係者に注意を呼び掛けた



カエル池へ移動



採取された卵塊



クロヤツシロラン



ベニシュスラン



クモキリソウ

写真 12. 2. 20 樹木伐採範囲縮小により保全した種

## 太田川ダム周辺の環境整備事業の総括

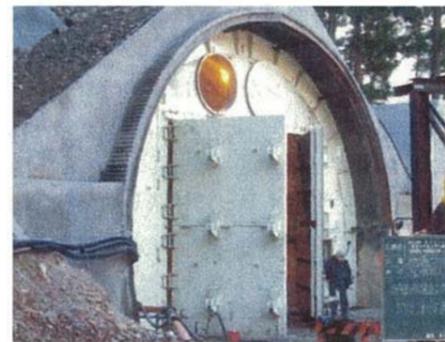
「太田川ダム建設に伴う環境保全に関する提言書」では、発破音の防音対策や工事中の濁水、アルカリ排水の流出防止などについて記載されています。連絡会の中では提言書で記載された内容以外に、ダムを教材とした教育への取組み、ダム湖周辺環境整備に関するご意見やご要望についても対応してきました。

発破音の防音対策としては防音扉の設置や、削岩など重機の騒音が懸念される場合の騒音調査を行いました。濁水、アルカリ排水については濁水プラントを工事完了まで稼働させ、処理を行いました。

また、ダムを教材とした教育への取組みとしては総合学習への協力や見学会を実施し、地元の子供たちの環境教育に活かしていただきました。その他、ダム湖周辺環境整備としては、「彩り岬」や伝倉沢の整備のほか、「エントランス広場」や「管理所エリア」の整備を行いました。

### 環境整備事業その他に関する連絡会での報告事項

項目	報告内容
環境対策の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>濁水処理対策</li> <li>猛禽類対策（工事の中断、騒音調査）</li> <li>工事における地元対策</li> <li>夜間照明への配慮</li> <li>貯砂ダムの魚道形状変更</li> <li>貯水池内流木撤去</li> </ul>
ダムを教材とした教育への取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合学習等への協力</li> <li>親と子のダム見学会をはじめとする見学会</li> <li>「美観づくりとウォーキング」の開催</li> <li>ダム及びその周辺の一般開放</li> <li>イベントの場としてのダム湖周辺の利用</li> </ul>
ダム湖周辺環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ</li> <li>ダム湖の命名に関して</li> <li>大まる様にトイレを設置</li> <li>バイオトイレの設置</li> <li>「彩り岬」の整備</li> <li>伝倉沢の整備</li> <li>「エントランス広場」の整備</li> <li>「かわせみ」にちなんだ環境整備</li> <li>「管理所エリア」の整備</li> </ul>



防音扉の設置  
(第3回連絡会資料より抜粋)



現場見学の状況  
(第12回連絡会資料より抜粋)



総合学習の状況  
(第12回連絡会資料より抜粋)



貯水池周辺散策コース (第16回連絡会資料より抜粋)

**環境対策、周辺環境整備の図面を分ける場合**

- 図面の上を方角の北にする。
- 写真、言葉の向きを修正する。

**環境対策、周辺環境整備を同じ図面に表示する場合**

- リーフレット中央に図面を配置する。
- 環境対策と周辺環境整備の代表的な写真を配置する。

展望台からはダム全体が見渡せます

ダムを正面に望むことができます

休憩施設